

令和6年度 神奈川県立大磯高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日時 令和6年11月9日(土) 14:40~16:10

開催場所 本校応接室

出席者

立花 ますみ	大磯高等学校 校長
桜田 京子	横浜国立大学教職大学院連携教授
秋本 篤史	大磯町政策総務部 政策課長
常盤 健嗣	大磯高等学校PTA 会長
小嶋 勝己	大磯町東町地区 区長

欠席者 八木 英一郎	東海大学政治経済学部教授
櫻井 英明	大磯町立大磯中学校 校長
小澤 香苗	株式会社タウンニュース
村上 実樹	株式会社SCN 営業部

事務局

副校長、事務長、教頭、教務G(杉山)、進路指導G(小金丸)、研究開発G(奥川)、生徒支援G(関根)、生徒会G(小野寺)、総務G(芳賀)、研究開発G(副島・菊池) 出席16名

議事

1 校長挨拶

文化祭、制服プロジェクトについて
PTA活動について

2 議長選出 常盤 建嗣 様

3 協議

各グループより(学校評価報告書に沿って中間報告)

教務G

年度の入れ替わりによる人員の変化が起こるため、マニュアルの作成、業務の見える化を進めている。
学力調査に選出(県で20校)、学習指導要領実施状況調査に選出(全国1000校)
令和8年度入学生のカリキュラムの検討を進めている。

進路G

夏期講習23講座を実施した。コロナ禍前に戻った対応ができている。
年内入試(総合型、学校推薦型)は昨年度より増加傾向、指定校推薦は成績上位層が減少。

研究開発G

前期の授業評価は昨年度後期並みを維持している。
オーストラリア海外研修の来年度の実施に向けて、募集のために宣伝をしている。
グローバル講演会を実施。各学年、探究活動を実施。

総務G

地域行事への生徒の参加、町の美化キャンペーンへの参加、大震災を想定した宿泊訓練を実施、大磯町の津波を想定した避難訓練へ参加予定、中学生への授業公開を実施。

生徒支援 G

生徒の課題解決に向けた支援、こどもサポートドッグ実施、SSW の活用が昨年度よりも進んでいる。
交通安全指導のため朝の指導や、新制服・旧制服それぞれに合わせた服装指導を行っている。

生徒会 G

文化祭は台風により、1 日目中止、2 日目のみ実施、後夜祭は中止となったため別日に実施。
各部活動、県大会への進出など精力的に取り組んでいる。委員会では家庭クラブが活発である。

各委員からのご意見等

- 本日の公開研究授業を見学した上で教室のプロジェクターの設置状況について。生徒の一人一台端末の活用状況について。電波状況の問題点について。あれば、ティーチャーズカレッジの受け入れ状況等（桜田）
- 来年度、電子黒板を全クラスへ導入予定。iPad は全生徒が使用する授業もあるがさまざまである。電波状況は、よくないときもある。（副校長）
- 授業の形式は指定無く各教員の工夫がみられた。ティーチャーズカレッジは想定よりも多かった。信念を持って取り組んでいる。（奥川）
- 電子黒板導入について、教員の負担感はあるのか。大磯町との連携が展示物などで見られてよかった。（秋本）
- 電子黒板導入について、スペースの問題はあるのではないか。（杉山）
- 椅子・机の配置など検討が必要な部分がある。（副校長）
- 先日導入された学校では、進んで利用する教員が多いという情報もある。（校長）
- 高麗の神輿への生徒参加について感謝（小嶋）
- 大磯高校は今とても良い状況にあると感じる。このような状況の大磯高校を発信していきたい。（常盤）

4 その他情報交換

- ・大磯町東町 小嶋区長より
東町地区は津波想定 8. 8m であり、地区はすべて水没すると考えられる。
海拔約 1 1 m の場所へ避難することを想定し、1 1 月に避難訓練を実施。
- ・百周年記念事業 校長より
具体的な話を進めている。来年度の途中で実行委員会に切り替える予定。

議長解任

第 3 回は令和 7 年 3 月を予定（副校長）

閉会